

## けいじばん

- 臨時活動日のご案内；7月13日（水曜日）及び8月6日（土曜日）吉原先生指導による植物調査を計画します。両日とも9時40分森林館駐車場集合。携行品；あれば樹木及び草本植物の図鑑、メモ・筆記具、蚊取線香又は虫除けスプレー、雨天の場合は雨具。撮影班はカメラ（ヤマコリやナツエビネの撮影をお忘れ無く）。豊英島の植物リスト（02年・05年対照表未完成）を当日配布します。参加者は事前に上記アドレス宛にメール又は電話下さい。植物調査のほかシンボルツリー・選定高木の樹木名木札作成・札付け、時間あれば未完成テーブルの仕上げも行います。
- 千年の森ホームページ；ホームページ（上記アドレス）は毎月更新されています。会報誌よりも画像は豊富です、今後植物、動物の調査リストや観察記紹介ページも逐次充実の予定です。パソコンのない方も図書館などのパソコンから閲覧可能です。

## かつどうのきろく

5月27日～6月11日（野鳥班臨時活動）トビの雛観察撮影；5月27日は高橋会員が、留守中の6月3日・11日は高橋会員に代わって新井会員がY氏の撮影協力を得て観察。2羽の雛は遅しく成長し、6月10日ごろ（6月3日～10日の間）めでたく巣立ち、11日の観察時は巣立ち後のもぬけの殻でした。2羽のうち大きい雛の巣立ち前の勇姿をご覧ください。（右写真6月3日）4月以降の高橋・新井観察記録は別途編集し、ホームページに掲載します。



なおトビ観察日の6月3日と11日、新井会員はニホンシカに出遭い、その模様と影響を「千年の森にニホンシカ・・・」に記しましたので次頁に掲載します。

6月19日（日曜日）曇 参加会員15名

- タケノコ狩り；全員でマダケ林をくまなく探し、発見したタケノコは写真右の1本のみ、他は全てシカの食害跡。この貴重な1本は外周を枯れ木などで嚴重に防護、収穫はホテイチク林に潜み食害を免れたマダケタケノコ3本とホテイチクタケノコ1本のみ。



シカに美味しく食べられ  
(6/3撮影)



残るただ1本のタケノコ  
(6/19撮影)

- コナラ更新林整備；15年秋伐採したコナラ更新林の萌芽と実生保護のための下草刈り；コナラ以外の木・タケ・草の除伐作業、若い実生苗を傷めないよう鋏や小鎌で丁寧。 (写真左)



また芽生え生育状況数調査中の3つの調査区については芽生え一本ごとに番号札。

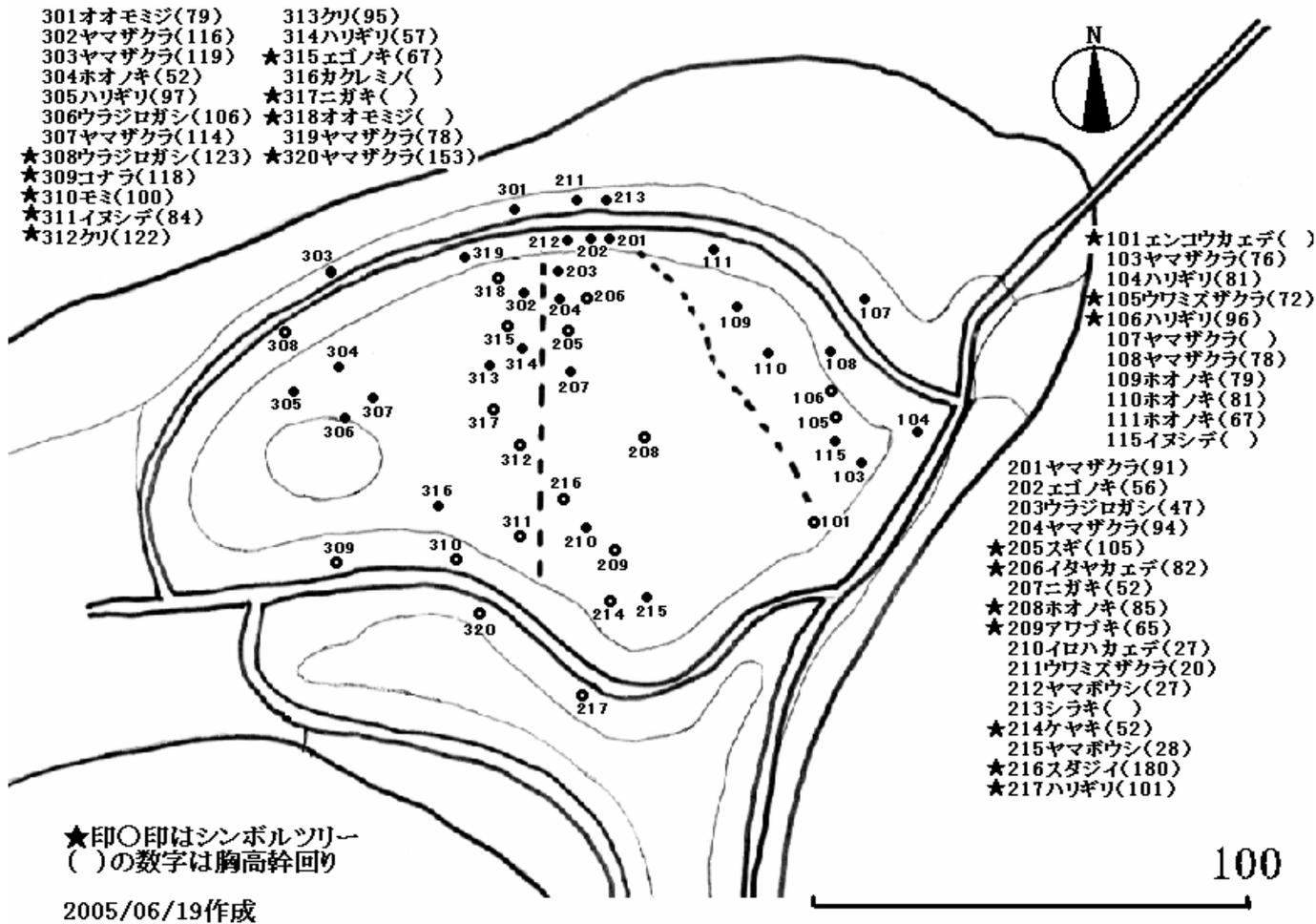


- シンボルツリー・選定高木標示杭打ち；3班に分かれて5月活動日に選定したシンボルツリーと選定高木48本の樹種と位置を確認しながら、白テープを除去して、黄色の標示杭打ち（写真右）。分布の状況は次頁「千年の森シンボルツリー・選定高木マップ6/19版」の通りです。

吉原先生から樹木名札用にコナラ丸太を裁断した立派な木札を頂きました。7・8月の活動日に樹木名書き入れと札かけを予定しています。

- このほか自由時間に竹細工、木工、植物調査、植物撮影など行いました。シカの撮影には失敗しました。昼のタケノコ汁はマダケ区域外でシカ食べ残しのタケノコ4本に鴨川や四街道の畑の芋や野菜を加え、豊英島の香り豊かな木の芽タップリで結構好評でした。梅雨の合間の曇空、雨に遭わず楽しい一日でした。参加の皆様お疲れ様。

千年の森シンボルツリー・選定高木マップ



千年の森にニホンシカ・ヤマビル

新井 孝 男

千年の森でのニホンシカの生息の確認(会員の)は、昨年(2005)の6月の活動中のバンビの出現でした。子鹿がいるということは、離島ということもあり、生活の根拠をここにおく「つがいの集団」が存在することの証拠であった。泳いで渡ってきたと推測された。そのときからシカそのものよりヤマビルの繁殖が心配であったが、今年の状況は誠に憂慮すべき事態となっている。予想以上の繁殖密度と思われ、しかも島と対岸を行き来しながらこの千年の森のタケノコやアオキの葉等を食餌しているようだ。6月3日のタケノコの食害の確認、11日の2頭の成獣の視認、さらに19日の数人の方が姿を確認し、方々に糞を見つけ、中にはまだ排泄したばかりのつやつやした糞があるなど、いよいよニホンシカが千年の森の活動へ課題を投げかけてきている。すでにヤマビルも確認された。

千年の森を一部(山好きの)「囲い込んだ森」としてゆくならそのメンバーだけが「重装備」するか覚悟して対処すればすむが、森林セラピーや一般県民への開放(とはいっても条件付きではあろうが)といったことを考えればヤマビル対策は今がもっとも大切な時期であると思う。シカやイノシシ、サルは行動半径が広く、結果としてヤマビルの生息域を拡大している。人間の生活区域にまで進出し大きな問題となっている。

千年の森はある意味で孤島として対策が立てやすいかもしれない。自分の所だけ良ければとの誹りを招かないようにしながら、早急な対策を検討したい。(図はヤマビル研究会ホームページ(代表 谷重利)より) 05.06.22 記

